様式第２号（第４条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000㎏以上3,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．保安距離 | ①第1種保安距離(法定16.97m・障壁設置0m)実際距離　　　m  　保安物件の名称  ②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m)実際距離　　　m  保安物件の名称 |
| ２．障壁 | ①障壁の構造 材料　　　寸法(高さ)　 　cm(厚さ)　 　cm  ②扉の構造 材料　　　　　　(厚さ)　　　cm  ③扉の補強 等辺山形鋼(枠) 　 ㎜× 　㎜(内)　 ㎜×　 ㎜  　　　　 間隔(縦)　　　　㎝(横)　　　　　㎝ |
| ３．火気取扱施  　設との距離 | ①火気等の種類　　　　　　　火気等との距離　　　　　　m  ②火気距離が5m未満　障壁(材料)　　　　　　高さ　 　 m |
| ４．滞留防止 | ①貯蔵設備面積　　　　　　㎡　法定換気口面積　　 　㎠  ②実際の換気口面積　　　　㎠ |
| ５．柵、塀等の設置 | 柵、塀等の種類 |
| ６．警戒標 | ①掲示位置  ②表示内容 |
| ７．消火設備 | ①粉末消火器  (A-4、B-10以上のもの　貯蔵能力1,000kgにつき1個以上)  ②その他 |
| ８．軽量な屋根等 | ①屋根の場合　　その材料  ②遮蔽板の場合　その材料 |
| ９．転倒防止等の措置 |  |
| 10．腐食防止置 |  |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第２号（第４条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000㎏以上3,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．保安距離  規則第1条第6号、第7号 | ①第1種保安距離(法定16.97m・障壁設置0m)実際距離　　20m  学校、病院等不特定多数の者が集まる建築物  　保安物件の名称　○○小学校  ②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m)実際距離　　15m  民家、マンション等住居の用に供するもの  保安物件の名称　○○マンション |
| ２．障壁  例示基準２ | ①障壁の構造 材料 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ等 寸法(高さ)200cm (厚さ)15cm  ②扉の構造　 材料 鋼板　　(厚さ)0.4cm  ③扉の補強 　等辺山形鋼(枠)○○㎜×○○㎜(内)△△㎜×△△㎜  　　　　 間隔(縦)□□㎝　(横)□□㎝ |
| ３．火気取扱施  　設との距離  例示基準１６ | 1. 火気等の種類　屋外給湯器等　火気等との距離　5.5m   ②火気距離が5m未満　障壁(材料)　　　　　　高さ　 　 m |
| ４．滞留防止  例示基準４ | ①貯蔵設備面積　　　5.0㎡　法定換気口面積　　　1,500㎠  ②実際の換気口面積　3,200㎠ |
| ５．柵、塀等の設置 | 柵、塀等の種類　鋼板製容器収納庫　等 |
| ６．警戒標  例示基準１ | ①掲示位置　収納庫側面　等  警戒標が写った写真を提出すること  ②表示内容　LPｶﾞｽ貯蔵設備､燃(赤色文字)､火気厳禁(赤色文字)等 |
| ７．消火設備  例示基準５ | ①粉末消火器　ＡＢＣ２０型　２本　等  (A-4、B-10以上のもの　貯蔵能力1,000kgにつき1個以上)  ②その他 |
| ８．軽量な屋根等  例示基準３ | ①屋根の場合　　その材料　繊維強化セメント板　等  ②遮蔽板の場合　その材料　薄鉄板　等 |
| ９．転倒防止等の措置  例示基準９ | 貯蔵設備の床は水平で、かつ、上から物が落ちるおそれがないようにする。  転落防止チェーンのよる転倒防止措置を講ずる。　等 |
| 10．腐食防止置  例示基準１５ | 容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。  貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。　等 |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。